

「母さん助けて、」はまだ可愛い

警視庁は「オレオレ詐欺」ならぬ「母さん助け入り……こんな被害者が詐欺」への注意を呼び増えている。

かけているが、最近も「送りつけ商法、またはつと悪質なものがある。ネガティブオプシオンな身に覚えのない産地直送」と呼ばれ、被害者が注野菜が代金引換（代引文）してない商品を一方向き）郵便で送られてくるのだ。それも老夫婦だけ金の請求を行う詐欺商法の家に。

老親たちは家族の誰かが注文してくれたものと同じ点し、代金を支払ってしまおう。誰も身に覚えがないことが分かり、クーリングオフを申し出ても後の祭りだ。

「おまえはバカか、」
「今から弁護士を連れて自宅へ行く」など電話で脅してくる。ビックリ



『送りつけ詐欺』の アコギな手口

です。ここ最近、高齢者談件数は、高齢者を中心どの海産物でしたが、最近の被害が増加して、前に約1万3000件、前回は健康食品や果物などに比し5倍、今年はそのが主流、振り込め詐欺は数十万から数百万円の被害なので気をつけます。昨年、国民生活センターで増えている。「以前は力二やホタテを送りつけ商法は1万5000

00円くらいの着払いのため、高齢者の2、3人に1人はだまされてしまうのです」（上原啓光氏）
代引きの商品は「受け取らない」ことを老親に徹底させること。もし代金を支払ってしまった後なら、内容証明郵便で返金を求めるしかない。来月の「父の日」も被害が急増しそうだ。